

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문

VOL 147

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい



和敬清寂の心

お花教室・抹茶教室

講師

林ゆみ子先生



美しき
晴海三兄弟

東京の晴海にそびえ立つ象徴的な三つ子のタワーマンションのこと晴海三兄弟などとも呼ばれており、湾岸民から親しまれているタワマン。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

和敬清寂の心

お花教室・抹茶教室

講師 林 ゆみ子先生

■道のり ————— 6

～新しい儀礼文化の継承～

福祉葬祭三重

■なかま ————— 7

「いつも頼れるムードメーカー」

八野生活介護センター通所

落合建一さん

■春夏秋冬 ————— 8

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 16

法人創立40周年記念 福祉の森まつり・
合同慰霊祭・知事表彰受賞

■職員の休日 ————— 20

「褒められたい男の休日」

第2南勢就労支援センター 糸川知成

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

表紙写真

ブルーインパルス

F1日本グランプリ 2023の開催を祝って「ブルーインパルス」が鈴鹿の空を飛行しました。オリンピックや国民体育大会などの大きな行事で華麗なアクロバット飛行を披露するブルーインパルスは、平和の象徴として知られています。今回の飛行は県内では1996年に開催された「フォーミュラニッポン」の初戦以来27年ぶりになりました。

和敬清寂の心

お花教室・抹茶教室

講師 林 ゆみ子 先生



今回は南勢就労支援センターにじいろに、毎月お花教室と抹茶教室の講師をしていただいている林ゆみ子先生にお話を伺いました。インタビューアールは南勢就労支援センターの林です。先生の教室はとても人気があり、利用者さんは毎月とても楽しみにされています。

Q1、華道・茶道を学ばれたきっかけはなにですか？

林先生：華道は小学5年生から習い始めました。自分が花が好きで、母に話をしたら学ばせてくれました。好きなので辞めることなく続けてこられました。茶道は、19歳からで、華道の先生のすすめでしたが、最初はとても細かい決まりが面倒そうでした。でも今年で習い始めてから50年になります。

Q2、流派はなんですか？

林先生：華道は「池坊」です。40年以上続いている流派ですね。最初は先生の準備してくださる花を教えられるままに生けていましたが、習い始めて20年くらいたったころにその花々の特性(強さ、水あげなど)がわかるようになり、自分で選んで生けられるようになり楽しくなってきました。

茶道は「裏千家」です。こちらも40年以上
 続いている流派ですね。茶道には本当にた
 くさんの細かな決まりがありますが、すべ
 て「おもてなしの心」からきているもので
 和(和み、仲良く)敬(誰に対しても敬う、尊
 敬する)清(清らかな心)寂(いつも穏やかに
 慌てない心)が根底にあります。お花も自分
 の楽しみもありますけど、玄関に飾ったり
 部屋に飾ったりとやはりおもてなしの心が
 あります。



Q3、ご自宅でも教室をされていますか？
 林先生…お茶は月2回しています。
 お花は地元の公民館などでも教室をして
 います。

**Q4、南勢で教室をされることになった
 きっかけはなんですか？**
 林先生…南勢職員さんから、ご紹介をいただ
 いたのがきっかけです。

**Q5、教室をしていてうれしかったこと、
 楽しかったことはありますか？**
 林先生…なかなか教室に入って頂けなかった
 利用者さんが入ってくれるようになり、一緒
 に生け花、抹茶をしたときは本当に嬉しなかつ
 たです。また、一時教室に入られなかつた別
 の利用者さんが、入ってくれるようになり、
 声掛けに返事を返してくれたり、出来たこと





を褒めると笑顔を見せてくれることが本当に嬉しいと感じます。

Q 6、利用者さんと接する際にどのようなことに気を使われていますか？

林先生：どんなことでも褒める事を意識しています。お花を長いまま切らずに生ける方がうらやましいです。

でも、その生け方もその方の持ち味であり個性であると思うので、その所をととても大切に接しています。

Q 7、利用者さんに教室を通して伝えたいことはありますか？

林先生：「っただけでいいので「これだけは」
と思えるものを身に付けて欲しいと思っています。」

Q 8、お抹茶教室では先生の手作りお菓子を振舞っていただくこともありますが、簡単にできるおすすめのお菓子はありますか？

林先生：和三盆のお菓子がおすすめです。火を使わずに短時間で作る事ができるので、機会を作っていたら、利用者さんたちと一緒に作ってみたいと思っています。

Q 9、お花教室では、いつも季節を感じる花を生けさせていたideていますか、先生の好きな花はありますか？

林先生：私は菊が好きです。仏花などのイメージも強いですが、菊の姿は凜としていますし、また花持ちがいい、水持ちもいい、それに匂いもいいからです。





匂いは本当に気持ちいい香りがあります。生ける時には、いろいろな花をつかいますし、やはり中には見て「菊か・・・」と思う人もいるので、バラなど盛花に良い花を使いますが、本当に好きなのは菊なんです。身近にあって、品格もある菊のような人になりたいなあと思っています。

Q10、利用者さんたちの成果発表の計画があれば教えてください。

林先生：秋の森まつり内で、1時間ぐらいで限られた場所で例えばご招待客の控え室などで、人数制限をして、利用者さんたちが点てたお茶を出したいと思います。本当はたくさんの人たちに振る舞いができるといいのですが、利用者さんたちが今、出来る事だけを、徐々に出て来る事を増やしていけたらいいと思います。

Q11、先生の華道・茶道への思いをお聞かせください。

林先生：自分の生きがいとして続けていきたいと思っています。お花はみんなが教えて欲しいと言って下さる間は続けていきたいと思っています。お茶は特にできるだけたくさんの人に「美味しい」と言っていたきたいので、もっと広められようとしていきたいと思っています。

先日、お会いしたアメリカの方が「日本の良さは他の人を思いやる、相手がどう思う



のかを考えることで、これは本当に素晴らしいと思うんです」と言ってみえたんですね。だんだん、今の日本は「私が、私が」みたいになり、思いやる気持ちがあつてきていっているように感じています。本当の日本の良さは相手を感じる気持ちだと思っんです。昔からの日本の良さをなくしてしまわないようにしていきたいなと思っ勉強させていただいています。

Q12、ずばりお花の心 お茶の心とはなんでしょうか？

林先生：華道、茶道のように「道」がつくものは精神的なものが含まれています。どちらも「人を思いやる心」だと思っています。

南勢就労支援センターにじいろ外部講師として一番長くお世話になっており、とても感謝をしております。コロナ禍の折りは、先生の教室がない事を寂しく感じてみえた利用者さんたちも多くみえました。コロナがら類になり、活動が再開してからは、毎回楽しく一人一人個性豊かに生け花を生けたり、茶道で礼儀を学んだり、自信を持って過ごすことが出来る教室を、今後も先生と一緒に過ごせることを心より楽しみしております。本日はありがとうございました。



「火を使わない」

安全・安心の「アロマ供養」

故人様へお線香を手向けたいが「火の元が心配・時間が無い…」
また「部屋にお線香の匂いがついてしまふ」などの理由により昔ながらの「香」は敬遠されがちです。

私ども福祉葬祭三重では従来の供養のカタチに囚われず、安心して故人様を偲ぶことができる「火を使わない」アロマ供養を提案させていただいております。

「いそ香 (iroko)」は、安眠効果があると言われていた「ラベンダー」にお香やお線香の原料でも利用されている「白檀」を配合したアロマオイルです。

〜ストーンにアロマオイルを2〜3滴垂らして、大切な方と心を通わせてください〜

この商品はサポートステーションにて作製、各きれいな福祉会館にて販売を行っております。

詳細につきましては「福祉葬祭三重」のホームページをご覧ください。

「火を使わない」安全・安心の新しい供養

アロマオイル「いそ香」



アロマオイル「いそ香」ドライフラワーセット
¥5,500(税込み)



アロマオイル「いそ香」セット
¥4,400(税込み)

aroma essential oil

〜変わらぬ理念〜

「心に残るお葬儀を」

当法人が、障がい者のあらたな雇用の場として『福祉葬祭三重』を立ち上げてから10年余りが経過しました。

おかげさまで順調に会員数を伸ばし、これまで多くのお客様の葬送のお手伝いをさせていただきました。

数ある葬儀社のなかから福祉葬祭三重を選んでいただき、お客様から頂戴しました代金は施設利用者の作業工賃として支給されており、自立に向けて訓練に励んでいる彼らの経済的支援につながっておりますことにあらためて感謝を申し上げます。

求められる葬儀の形が変わりつつある中で、私どもの変わらぬ理念は、これまでもこれからも「心に残るお葬儀」です。

葬儀の規模や形に関係なく、これらもご縁をいただきましたお客様おひとりお一人の最期のセレモニーを心を込めて「お手伝い」させていただきます。



「いつも頼れる ムードメーカー」

八野生活介護センター
通所 落合建一さん

第2八野ワークセンターに入ったのが開所32年前4月の事。クリーニング畳み作業やラインの結束、パイプセット機の作業など色々な仕事を経験した。自身は資材の運搬、ウエス納品等、職員と一緒に車で納品に行く事が楽しみであった様だ。中前副施設長の印象に残るエピソードを聞いたところ「浦島太郎」の劇をした時の事。建一さんは亀の役で台本にはないアドリブでこけて転がり会場に見に来てくれた利用者さんや家族さんの笑いを一斉にとったこと。

現在は八野生活介護センターの通所や短期入所を利用していている。利用者さんや職員の笑いを誘うムードメーカー。利用者さんや職員の靴箱の場所もしっかり把握され靴を履き替えようとする前に戸を開けてくれる。もちろん、自動ドアのスイッチを押しドアマンもこなす。歌が大好きで舟木一夫や北島三郎をこよなく愛している。活動では自立課題や書道、ポッチャ等様々な物に興味を持っている。



ワークセンターで働いていた頃



みんなで作った商品の袋詰め



ポッチャをプレイ



職員と一緒に



生花完成

八野生活介護センター

秋の演奏会

9月21日(金)、デイルームにて利用者さん職員が初めて耳にする音、見るのも初めての楽器の演奏鑑賞があった。中国琵琶奏者のシュウさん、ギター奏者の村上さん夫妻をお招きし入所利用者さん、通所利用者さんに鑑賞してもらった。心地よい体幹にも響く琵琶の音、琵琶に花を添えるようなギターの音、ご夫婦二人三脚の音は癒やしそのものでうっとりいつまでも聴いていたい音色だった。演奏後は質問タイムや記念撮影等楽しい時間が続いた。



皆さんしっかり聴いていた



左がシュウさん 右が村上さん



演奏中



みんなニコニコ

マックへ外食

10月18日(水)、マクドナルドへ外食に出かけた。久しぶりの外食でもあったので、参加する2名の利用者さんはニコニコと笑顔が見られ楽しみにされている様子だ。

店に着きメニューを選んでハンバーガー・ポテト・ジュースを召し上がられ、2名とも笑顔で美味しそうに食べられていた。コロナも落ち着き外出や行事が出来るようになって利用者さんにとって喜ばしいことだ。これからも楽しい時間を提供出来るように務める。



いただきます



出発



おいしかった～

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

芸術の秋「パラリンアートウィーク」

11月6日(月)～11日(土)をパラリンアートウィークと銘打ってアート製作に取り組んだ。葉っぱ de アート、スタンブアート、カラフル粘土、秋のコラージュ、缶バッチ制作、くるくるモビールの6作品に取り組んだ。季節感溢れる作品からはじめて触れる材料や器具を使った作品まで、普段の活動から一歩踏み込んだ取り組みに挑戦した。新しい挑戦にワクワクしながら楽しんでいる様子が印象的だった。



秋のコラージュ



部屋が美術館のよう



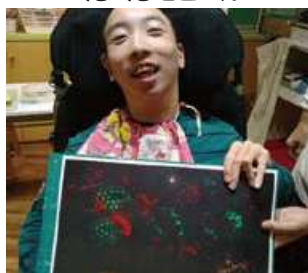
くるくるモビール



くるくるモビール



葉っぱ de アート



スタンプアート



缶バッチつけてみたよ



オリジナル缶バッチ!



大きい魚にびっくり



ペンギンと一緒にポーズ



かわいいチンアナゴ



食べられちゃうよ～



夫婦岩見えるかな



海に出てみました



ドクターフィッシュの足湯

10月28日(土)晴天に風の強い秋の1日、楽しみにしていた水族館に出かけた。カワウソやセイウチ、チンアナゴやペンギンなどをじっくり見た後は、夫婦岩までの散策予定を強風の危険を避けて「ドクターフィッシュの足湯」スポットに変更した。小さな魚ガラ・ルファの泳ぐぬるい足湯に素足を入れて、くすぐったくて気持ちの良い感覚を大に楽しんだ。

秋の外出イベント 「伊勢夫婦岩ふれあい水族館」

伊勢シーパラダイス

放課後等デイサービスURAURA稲生

八野就労支援センター

日帰り旅行 (甲賀流リアル忍者館、ブルームの丘)

9月16日(土)、3年ぶりの日帰り旅行にやっと行くことが出来た。今年は滋賀県に観光バスに乗り最初到着したのが忍者館館内では甲賀の忍者の歴史や、手裏剣など教わり実際に投げける事もでき利用者さんの中には体験している者もいた。館内はとても広々としておりトイレ休憩も含め、プロジェクトクションマップピングなども体験出来てゆったりと過ごした。

お昼は、近江牛と松茸ご飯に土瓶蒸し、秋を堪能するメニューが並び、陶板焼きで利用者さんもお肉や、炊き込みご飯をお腹いっぱい食べて、大満足の様子だった。

ブルームの丘では、記念撮影に始まり、とてもキレイに植えられているお花などを見て、アイスクリーム体験の場所まで歩いた。体験ではグループで助け合いながら材料を振る姿があった。「美味しい」という声が多く聞こえてきたが、お昼ごはんをたくさん頂いたにもかかわらず、アイスもとても喜んで食べていた。みんな笑顔が素敵でも暑い日ともあって最高の味だったのだろう。行き、帰りのバスの車中でも、カラオケ、ビンゴ共に大盛り上がりで、沢山の色々な姿が見られた日帰り旅行となった。



みんなでニンニンポーズ



近江牛、美味しかったです



アイスクリーム作り体験、楽しい!



動物とふれあい、モフモフを満喫!



記念撮影・はい、チーズ!

久しぶりのBBQ!



やっぱり焼きたては最高です!



みんなと一緒に食べると美味しいね

10月14日(土)、過去最多の参加人数のBBQで職員前日準備に掛かり、利用者さんが楽しみにしていたBBQとなった、今回は施設内だったが内容盛りだくさんで、途中くじ引きやお菓子などをもらったり、ワクワクする様子が伝わってきた。焼きそばや、フランクフルト、焼きおにぎり、焼き鳥、お肉、サラダ、フルーツなどに、みんながもっとぞわぞわするののかと思いきや、職員の「ちゃんと並んでね〜」の一言でマナーを守って行動していた。毎週のように行事に参加してくれている利用者さん、でもやっぱり、BBQのように「食」の行事は、参加人数も増えて、満足感がとても伝わる。帰りの車中でも「〜が美味しかったあ」などと聞かされたら、来年も次はあんなのこんなの話になる。来年も楽しんでもらえるようなBBQを企画していきたい。

きれいサポートステーション

アロマストーン販売開始



固まらないうちにまぜまぜ



しっかりとグラムを測りながら



恐竜を自分好みに色塗り

今年の10月と11月にあつた南勢と北勢の森まつりで販売するアロマストーンを、今年の初めから作り始めた。石膏を水で混ぜてから型に流し込み、数時間すると固まって白いストーンが出来上がる。そこから利用者さんが色を塗る。利用者さん毎に好きな色があり、個性がよく出た作品となった。色が付き、出来上がったストーンに上から生活の木で購入したアロマを垂らすと、香りを楽しめるアロマストーンの出来上がりだ。

北勢の森まつりでは色塗り体験が出来る場所も作り、子供たちに大人気だった。

次は来年1月開催の『就労マルシェ』でも販売予定だ。

これからも利用者さんの個性的な作品を作っていくつもり。



色塗り体験



アロマストーン 販売ブース



大好きな歌を大熱唱



好きな歌が流れると前に来て踊るんだ



音に合わせてステップステップ



劇団ゆめふうせんと中北さんのコラボ

10月19日(木)に、シンセサイザーとピアノの演奏者の中北利男さんに演奏に来てもらった。当日はきれいな福祉会館鈴鹿南で全利用者さんが演奏を聴いた。

春夏秋冬の童謡の曲から始まり、続いてシンセサイザーで色々な楽器の音を聞いて。リクエストタイムではピンマイクを付けて歌う利用者さんもいた。休憩後は、劇団ゆめふうせんと中北さんのコラボ。となりのトトロを弾いてもらい、曲に合わせて演劇の利用者さんがダンスを踊った。最後はみんなが大好きな曲を踊って歌って終わりとなった。普段聴く機会が少ないシンセサイザーを楽しむことが出来て、利用者さんもとても楽しんでた。今後も音楽を楽しむ機会を作っていきたい。

ゆめふうせんシンセサイザーとコラボ

南勢就労支援センター

五感で感じた日帰り旅行

9月16日(土)、私たちは滋賀県信楽へ。天候は快晴、利用者さんたちはウキウキ、ワクワク、ソワソワ・・・

観光バス2台に分かれて乗車、しおりを片手に利用者さん同士で非常に盛り上がった様子で出発！

最初は「信楽陶芸たぬき村」。昼食の近江牛を楽しんだのち、陶芸体験。手びねりか、または絵付けを体験。お皿を作ったり、絵を描いたり配色したり、集中して楽しんでおられた。作品は焼成していただいた後、年明けにお手元に届く予定。

その後は「MIHOミュージアム」へ。美術館まではトンネル、つり橋もあり、秋の風を感じて歩いた。館内では芸術品を鑑賞し、高所からの風景を楽しんだ。

最終、土山SAにてお買い物。お店の品物をじっくり見て家族へのお土産なども選んで決めておられた。帰りのバスではコロナ感染対策で人気のカラオケは中止させていただき、代わりに豪華景品のビンゴゲームを行った。涙あり拍手ありと、とても白熱した。4年ぶりの日帰り旅行で普段とは違う表情の利用者さんたち。旅行の疲れ等もななくすべくに「来年も楽しみですよ」との声があがっていた。



「信楽陶芸たぬき村」で大きなたぬきと記念撮影



しおり片手に出発!!



近江牛に舌鼓



電動バスに乗車!



MIHOミュージアムにて鑑賞



たぬき村の職人さんが教えてくれました



秋の風が気持ちいい



大きなつり橋とトンネルを歩きました



手びねり体験に真剣

第2南勢就労支援センター

準備や片づけも大忙し



しっかり数を数えて



暑いけど集中



もうすぐ完成



ギフト完成!



きれいに整えて



竹を切るのもお手の物

10月22日(日)、法人設立40周年記念福祉の森まつりが4年ぶりに開催された。

第2南勢のジャム班とまかせ太班は準備の段階から大忙し。

ジャム班の皆さんは記念品のギフト作りのために毎日暑い中、加工作业やギフトボックスの作成をしていた。

まかせ太班のみなさんは会場となる宮の里の整備や前日のテント準備などをしていただいた。

頑張っていたいただいた皆さんのおかげで祭り本番も問題が起きることもなく、無事4年ぶりの開催を大盛況で終えることができました。

今年のテーマは「ありがとうをかたちに」この文章を通して、協力していただいた利用者・保護者の皆様に「ありがとう」を伝えたい。

宮の里ミタスメモリアルホーム

待ちに待った森まつり♪

10月22日(日)、4年ぶりとなる福祉の森まつりが開催された。

多くの来賓や関係者にも参加いただき、暑く感じるほどの陽気の中で盛況であった。

通所保護者会のご協力で、和菓子店も完売御礼。根強い人気を感した。

ブースの一つでは利用者さんの手芸作品も販売されており、お客さんと直接する良い機会になったのではないかと考える。

ステージ発表やスタンプラリー、久しぶりに会う方とのコミュニケーションなど、楽しみ方は様々だが、皆さんの表情は明るいものであった。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



スタンプラリーたのしかったです



お買い上げありがとうございます



家族で接客中



素敵な笑顔で接客

福祉の森まつり

10月22日(日)、福祉の森まつりが開催された。

今回は創立40周年を記念するとともに、関係者の皆様に感謝を伝えたいと各種の催しが企画された。入居者のご家族も多くご来場頂きともに楽しむ様子が見られた。

潮田さんが作詞した「母子草」をメインゲストのベイビーブーさんと一緒に歌うサプライズもあった。緊張の中、しっかりと歌い上げた。

作品の展示コーナーもあり、日頃取り組んだ成果を発表する機会となった。来場者の反応がこれからの活動にも活かされると考える。

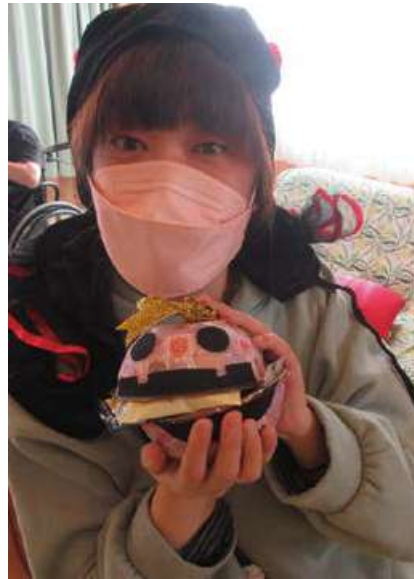


二見生活介護支援センター 潮音

みんなでハロウィン



背中のマントで飛べるかな？



たくさんお菓子を詰めたよ！



かぼちゃの化身？



私は猫の耳を付けました♪



入りきらないぐらいお菓子もらっちゃった♪



この帽子似合うでしょ？



どのお菓子にしようかな～

潮音では、利用者さんと一緒にハロウィンを盛り上げようと、10月の創作活動から準備を行った。

お化けカボチャの入れ物を職員と利用者さんが力を合わせて製作！折り紙をちぎったり、ノリで貼り付けてもらったりと個性豊かな創作品となった。

そんなお化けカボチャの中には各々好きなだけお菓子を詰めてもらい、みなさん嬉しそうに持ち帰って頂いた。

なかには、お化けカボチャの口が閉まらないほど沢山詰めてもらったり、遠慮して少ししか入れない利用者さんもみえた。

仮装なども行い、楽しんで頂いた。

法人創立40周年記念
福祉の森まつり

南勢地区

10月22日(日)、天気は快晴、汗ばむほどの陽気の中、「感謝」をテーマに4年ぶりの開催。YDS studioさんたちの元気なキレのあるダンス、田丸城太鼓、わかば和太鼓クラブの迫力ある演奏の後、利用者さんたちのど自慢大会。我こそは！と出演された方は、美声を披露されていた。その後は、日々練習をしていた、南勢にじいろのハンドベルと第2南勢ダンス部の発表。ゲストのベイベーブーさんと一緒に作られた潮田美奈子さん作詞「母子草」の披露もあり、一人一人違う形で自己実現や達成感を得た祭りだった。来場者も約900名を超え、大盛り上がりで幕を閉じた。



ベイベーブーのステージ



「母子草」でコラボレーション



南勢にじいろハンドベル演奏



第2南勢ダンス部発表



のど自慢大会で熱唱



故小林会長の献花台

北勢地区

11月5日(日)に約4年ぶりとなる森まつりを開催。今年は伊勢きれい会40周年として感謝をテーマに盛り上り、約1500人の方が森まつりに集まった。オープニングでは、放課後等ディサービスの踊り、はちのふらざーず、第2南勢就労支援センターダンス部、それぞれの踊りを披露した。よさこいではステージ外に出て踊り、よさこいの掛け声が全体に広がった。お昼からZERO STYLEさんによる歌劇団ゆめふうせんの劇、あおい保育園のマーチングバンド、演歌歌手西尾夕紀さんの新曲「二途な恋」で森まつりを締めくくった。その他にもプラレールの展示、VR体験等面白いコーナーがあり、40周年の森まつりは盛り上がった。



感謝状贈呈

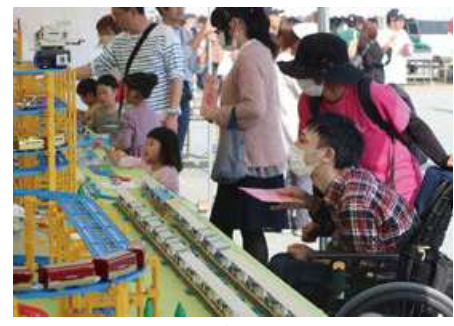
理事 岸 勝驥様 評議員 青山 學様 藤川設計(株) 代表取締役 藤川啓志様 三重水熱工業(株) 代表取締役 有川勝俊様 絵画ボランティア 南部湧子様 陶芸ボランティア 水谷康司様



オープニングダンス



故小林会長の献花台



プラレール



劇団ゆめふうせん



はちのふらざーず



演歌歌手 西尾夕紀さん



ZERO STYLE

合同慰霊祭 福祉葬祭三重

11月18日(土)
11月19日(日)
於：伊勢・津会館
於：鈴鹿南会館

爽やかな秋晴れにも恵まれた中、本年度(対象：令和4年7月～令和5年6月(逝去)の合同慰霊祭が各きれい福祉会館にて執り行われた。

コロナ禍を経て、4年ぶりによつやく遺族をお招きしての開催となり、参列者全員で576名の御霊に対しての慰霊を行った。

第一部として、慰霊供養・アロマキャンドル献灯・テロップでの物故者名のご紹介が行われた。その後、ご遺族代表による追悼の言葉を頂戴し、最後にご遺族全員がそれぞれの大切な方を想い、一輪一輪献花を捧げた。第二部では、石井流総師範 石井秀岱氏による津軽三味線の演奏が行われ、楽しいひとときを過ごしていただいた。この日が物故者の慰霊だけではなく、遺されたご遺族にとって新しい一歩を踏み出す機会となっていただけだと願い、合同慰霊祭を終了した。



ご遺族代表 追悼の言葉



アロマキャンドル献灯



慰霊供養



第二部 津軽三味線演奏



主催者代表挨拶

北勢地区合同慰霊祭

10月6日(金)に北勢地区合同慰霊祭を執り行った。今年、岡田次弘さん、倉田光春さん、中村秀三さんの3名の方が逝去された。参列した8名の利用者様も3名の故人にはたくさん思い出があるよつやく、参列しながら振り返っておられた。合同慰霊祭をとおして、納骨されている故人を偲ばれた。



合掌



献花

南勢地区合同慰霊祭

9月30日(土)、南勢地区合同慰霊祭が行われた。

利用者代表として宮間孝明さんが弔辞を読み上げ、御住職の読経の中、故人との思い出を振り返りながら焼香し無事慰霊祭は終了となった。今年、物故者のご親族や保護者会役員の方々にもご参列頂くことができた。



参列された利用者さん



献花

社会福祉法人伊勢亀鈴会が知事表彰を受賞



一見知事から表彰状を受け取る横山理事長

障がい者を積極的に雇用している県内企業などをたたえる本年度の県障がい者雇用優良事業所等表彰式が10月14日、県総合文化センターであり、3法人と3社が表彰された。最高位の知事表彰には、社会福祉法人伊勢亀鈴会が選ばれた。

きれい会では6月1日現在で、27人の障がい者を雇用。身体10人、知的8人、精神9人で、障がい者の実雇用率は法定の4倍以上の9.6%となっている。式の冒頭、一見勝之知事は「障がい者も、健常者も、それぞれ尊重されながら生きていくことを目指していくべきだ。皆さんはこうした考え方を実践していただけている」と表彰を受けた出席者をたたえた。

福祉助成金10万円賜る



高野山真言宗三重宗務支所による宗祖弘法大師御誕生1250年記念 高野山真言宗特別伝道 枢議・参与・檀信徒研修会が11月11日(土)、アスト津アストホールにて行われた。式典にて社会福祉法人伊勢亀鈴会に福祉助成金として10万円をご寄付いただきました。

職員の休日

OLIDAY

「褒められたい男の休日」

第2南勢就労支援センター

糸川知成

私の趣味は、30年間続けているサッカーとフットサルです。週末の休日は、ほぼサッカー三重県社会人リーグの試合に参加しています。下手の横好きではありますが、自分の息子でもおかしくないチームメイトや対戦相手が居たりします。歳にはやはり勝てませんが、必死でついでいくように頑張っています。(笑)

結婚や家族が増えたりすると、休日に出ていくのは家族の理解が必要です。「試合に行く為には、家族に認めてもらえるように努力することが必要。家族が要因で行けないのは、ただの言い訳」をモットーにしています。その為、平日や試合のない休日は、子供とお散歩・トイレ掃除・草抜き伐採・晩御飯の準備(下味程度)を最低1個はやるようにしています。まだまだ家族に認めてもらえるような努力は出来ていませんが、一度も嫌な顔もせず、試合に行かせてくれる妻には感謝しかありません。

また、妻にとっては当たり前前の事で、自己欲求の為だとは理解していますが、それでも「頑張ったね」「ありがと」と褒められたい。しかしながら妻はそんな私の下心を見透かし、なかなか褒めてくれません。(笑)それが悔しくて、喜んでもらえるようなサプライズを試みたり、美味しいおかずを作ろうとクックパットを見て勉強しています。

先日もちャーシューを作ってみたのですが、「味が入っていない。豚バラは脂身が多いから脂身が極力少ないのを選ぶのが基本」と辛口コメントをいただきました。しかしながら妻が手を加えてくれたおかげで、脂身は多いが、美味しいチャーシュー丼になった為、頭が上がりません。妻には本当に感謝しています。この場を借りて妻に言いたい「たまには褒められたいんです!!」(*▽*)



サッカー



チャーシュー丼



子供とお散歩

きれいかいの動き

新職員紹介

八野生活介護センター

社会的事業所まかせ太

福祉葬祭三重

南勢就労支援センター



沖谷 広美



松葉 康太



長濱 大樹



阿部 輔

ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

ご厚志一覧(順不同)

福祉の森まつり(北勢)

- 一心寺様
- 富士交通(株)様
- (有)伊藤総合コンサルタンツ様
- 横山園芸様
- 社会福祉法人白鳩会様
- 鈴鹿市議会議員 野間 芳実様
- たまき社会保険労務士事務所 中山 博文様
- 伊勢亀鈴会 監事 小森 稲穂様
- 内田 常一様
- (株)杉之内工務店様
- 三重水熱工業(株)様
- 花工房 卯らら様
- (有)洋久屋燃設様
- 岸 美恵子様
- 野間 伝市様
- グループホーム一松様
- 藤川設計(株)様
- 白川建設(株)様
- JAYACARE(株)様
- 八野生活介護 絵画講師 南部 涌子様
- (株)福祿壽総本店様
- 野呂 尚 様 水谷和好様、大橋次子様、川北勝子様、
- 渋谷三也子様、寺村順子様、森幸子様
- 合同会社フォルテン宅様
- 保護者会様
- (株)グッドライフ様
- 社会福祉法人天年会 かなしろうず園様
- バレーボール協会様

第2南勢就労支援センター

二見生活介護支援センター潮音



奥田 真由巳



五十子 久代



細木 強

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

南勢就労支援センターの林です。巻頭インタビューではとてもお世話になっている先生に教室外でのお話を伺うことができ、人とのつながりの大切さ、思いやり、おもてなしについて学ばせて頂きました。ぜひ今後の利用者支援に活かしていきたいと強く思いました。この機会を快く引き受けていただいた先生、編集委員の皆様、ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいておりますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

- 八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881
- 宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:加藤 TEL0596-58-5030
- 二見生活介護支援センター潮音 担当:森本 TEL0596-72-8822

福祉の森まつり(南勢)

- さわだ薬局様
- 井関 俊雄様
- 丸亀産業(株)様
- 日本電話施設(株)三重営業所様
- (株)川原製茶様
- 藤川設計(株)様
- たまき社会保険労務士事務所 中山 博文様
- 伊勢市ボランティア連絡協議会様
- 三重水熱工業(株)様
- JAYACARE(株)様
- 魚菊様

ご寄付 2023.9.1~2023.11.30

福祉葬祭三重

- 真宗高田派 法林寺様
- 浄土真宗本願寺派 西方寺様
- 曹洞宗 養泉寺様
- 真言宗 一心寺様
- 浄土宗 地福寺様
- 真宗高田派 法流寺様

きれい通信 ちよっと寄り道!!



大正3年創業
味噌・醤油製造
伊勢蔵



今回の寄り道は創業大正3年より旧東海道にて味噌、醤油製造を行っている伊勢蔵さん。
駐車場に着くと大きな木樽が出迎えてくれます。
店内は、米麴、大豆の香りが漂い風情が感じられ、お味噌が並んでおりこの辺りでは珍しい量り売りができます、お客様からは「一度食べるとスーパーの味噌、醤油には戻れない」との声を励みに日々皆様に喜ばれる製品作りに取り組んでいます。
また、多くの企業様よりご注文を頂き製造している商品があり「その味・・・伊勢蔵さんが関わってるの?」と言う商品が沢山あります。
新しい取り組みも盛んで醤油、味噌を使用した、つゆ、タレ、ドレッシング等の製造も行っておられます。色々な事業展開されておられる伊勢

蔵さん、もしかしたら既に食されているかも知れませんが、気軽に絶品のお味噌やお味噌汁を今からの季節に味わってみてはいかがでしょうか?是非お立ち寄りください。



- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL.059-378-8881(代) FAX.059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp
指定放課後等デイサービス事業所
- URAURA稲生**
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL.059-392-5130(代) FAX.059-392-5131
- 指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL.059-378-6622(代) FAX.059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体にいいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL.059-380-6355 FAX.059-367-7377
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL.059-388-1508 FAX.059-388-1508
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン(空らたがーでん)
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL.059-388-1882 FAX.059-388-1882
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ
(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL.0595-96-8182 FAX.0595-96-8182
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ
(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL.0595-96-8183 FAX.0595-96-8183
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜(みいとのもり)
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL.0596-55-6800 FAX.0596-55-6800
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL.0596-20-8530 FAX.0596-20-8531
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL.059-388-0864 FAX.059-367-7911
- 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL.059-340-7997 FAX.059-367-7050
- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスマモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL.0596-58-5030 FAX.0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp
- 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL.0596-58-8588 FAX.0596-58-5033
- 指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音(しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL.0596-72-8822 FAX.0599-72-8823
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古守鉄砲塚728番地の18
TEL.0596-58-0101(代) FAX.0596-58-6742
e-mail nansel@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音(しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL.0596-72-8808 FAX.0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL.059-380-1711 FAX.059-380-1712
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL.059-380-1717 FAX.059-380-1720
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL.059-213-1717 FAX.059-213-1771
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL.0596-26-3170 FAX.0596-26-3025
- 社会的事業所
まかせ太君(鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高野3917-272
TEL.059-370-8118 FAX.059-370-8119
- 社会的事業所
まかせ太君(伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL.0596-63-5450 FAX.0596-63-5451

指定就労継続支援B型事業所

印刷

八野就労支援センター
きれい印刷工場

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp